

だい かい しょうわ みらい かいぎ 第7回「昭和未来会議」のまとめ

1. がいよう 概要

へいせい ねん がつ か ちりゆうだんち しょうわろうじんいこい いえ だい かいしょうわみらいかいぎ かいさい
平成28年12月10日、知立団地「昭和老人憩の家」にて、第7回昭和未来会議を開催しました。
こんかい てんかい かく じょうきよう おう すず かた
今回は、これまでの展開をふまえて、各グループのこれまでの状況に応じた進め方でワークショップをおこないました。(参加者9名)

2. まとめ

こんかい はな あ おこな しえん ひつよう ほう たい
今回、話し合いが行われたのは「イベントグループ」「支援が必要な方に対してできることグループ」の2つでした。「交流の場グループ」については、これまで主に議論を進めてきた皆さんが不在だったため、次回に延期となりました。

かく グループの意見を集約すると、以下のようにになりました。

グループ①『交流促進①～イベント等で交流の機会を！～』

＜これまでのストーリー＞

◆イベントは、交流促進や地域に活気をもたらしきっかけとして効果的です。昭和未来会議でも、新しいイベントについての多くのアイデアがあげられました。

◆しかし、実際に新たなイベントを行うとなると、「人（中心的人物や協力者）、場所、資金、地区内の他のイベントとの兼ね合い」等の理由で、新しいイベントの開催は難しいというのが11月の昭和未来会議を終えての主な意見でした。

◆そこで、イベントグループの話し合いの節目として、既存イベントの情報整理をはじめました。関係者や地区住民が情報を共有することで、既存イベントの活性化と、今後、新規イベントを考える際の手助けとなるようにつなげていきます。

⇒具体的には、「イベント名、開催時期、主な内容、運営者と可能であれば問い合わせ先、参加できる方、例年の参加者の状況、その他コメント：『若い世代と一緒に大きくしたい』『仲間内のイベントなので、静かにコツコツ続けていきます』『他地区からの参加も歓迎』……」等の情報の整理に取り掛かりました。

⇒ 整理中のイベント情報については、次頁をご参照下さい。

（今後について）

◆昭和未来会議でできる限りの情報整理を行い、その後、町内の関係者の皆さんに内容をご確認頂き加除を加えた上で、様々な形でイベント情報を活用していきたいと思えます。

⇒既存イベントへの活性化。参加者、協力者の増加

⇒運営者が各イベントの情報をすることで、内容の磨き上げやイベントの存続に繋がる

⇒今後、新規のイベントを考えたいという住民が出てきた際の参考とする

⇒定期的に情報を修正・更新し、昭和未来会議で管理していければ、価値のあるものに

※今後は昭和地区の魅力（資源）の整理も行い、イベント情報と合わせて、発信できれば地区住民の活性化、地域への理解を深める、イベントの活性化、移住者に向けた情報発信にも活用、外国人用の多言語版などにも発展（東小の子どもたちと翻訳作業）等、色々な展開が考えられます。

イベントの意義

<p>イベントの意義が大切。子ども達 未来につなげる 共通のビジョンとして『子ども達・防災・安全』を 防災という切り口は大切 (防災、マザー、かまきつばた) 子どもを守る</p>	<p>住みやすい未来のためにということをしっかりと打ち出 仲間が広がる → 次の展開にも広がる イベントは今では全体ではできない(色々事情が)</p>
---	---

昭和地区のイベントの情報

	春	夏	秋	冬
イベント名と内容	<p>運動会、東小、フリーでオープン参加、地域 子ども！ 大人の役割も (災害)体験イベントは開催できるのでは (NEW!) ↑ 事前に地区の防災の特撒出し ・炊き出し体験で食も提供 ・外国人 地震</p>	<p>夏まつり、盆踊り 防災 → これを全体の意義に 避難所、訓練、学校でテント泊 学校のペンキ塗り 流しうめん 4丁目夏花火大会 修繕イベント(ペンキ)東小</p>	<p>秋まつり 文化祭 ハロウィン 地域演芸ショー(4~5回やっていった) 学校で午前、午後は地域で 4丁目生涯学習(今年、セントレア滑走路ツアー) 知立市民運動会至種目出場 2018年度優勝 昭和出場</p>	<p>もちつき大会 東ノ子カーニバル(東小)</p>
備考	<p>『ハルケの報告』 ・105人来た。日本人半分 → できれば毎月やりたい。いろんな機会になる ・メンバーが10人しかいないので → ご協力頂ければ → 次回、3月、4月? ↑ ・防災とか何か絡めて</p>	<p>多文化(リーダー)一、組織 先生連れてくる) ・外国の方(あき祭り、修繕)は多い ・外国人 親と継続的につながりたいが...</p>	<p>オヤジの会ストリー ・オヤジの会、野中さん(最初)がスタート ・オヤジの会の歴史を振り返れないか オヤジの会 ・オヤジの会の皆さんがいなくてできない</p>	<p>特色ある教育 ・具体的にあれば ・日本人のメリッ ・売りだよ! というもの</p>

イベント情報は、次回以降も整理を続けたいと思います。昭和地区で共有してほしいイベントの抽出を引き続き行い、可能な範囲で各イベントの概要を追加していきます。

グループ②『支援が必要な方に対してできること』

<これまでのストーリー>

◆ここ数回話題となっている「認知症対策」。高齢化が著しい昭和地区でも重要な対策の一つとなります。



◆これまでの会議の中でも、認知症対策についてのアイデアが幾つかあげられてきました。今後も様々な高齢者対策が必要となりますが、昭和未来会議では、まず、はじめに認知症について考える機会について検討していけないか考えていただくことにしました。



◆第8回目の会議では、行政や社会福祉協議会と相談しながら、具体的に昭和地区で認知症対策の取り組みが行えるよう、事前に事務局が準備した実施イメージをもとに検討を進めました。

⇒ 検討内容については、次頁をご参照下さい。



(今後について)

◆まず、昭和未来会議の参加者を中心に、プレ体験ができるよう、日程の調整を行います。

◆「劇団」のアイデア等についても、実現可能な時期や内容について検討を続けます。

<p>支援グループ</p>	<p>今年度(平成28年度)</p> <p>●活動の目的</p> <ul style="list-style-type: none"> 講座を聞くだけでなく、地域で話し合うことが大事 地域の人が知り合う場、顔を合わせる場にもなれば 目的は認知症のことを理解している住民が地域にたくさんいる状況をつくること。高齢化の進む昭和地区では特に、(認知症サポーター)になったら定期的なボランティア等で今後の活動で負担が生まれる、というものではない 認知症に限らず、色々な関心事について勉強できる場づくり 支援等に取組んでいる人達の情報共有の場 <p>●反省会の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 近所の人の接し方わからない どのような話が聞きたいか 	<p>来年度以降の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> 反省会の意見を踏まえ、内容を磨き上げる 昭和地区全体で認知症サポーター養成講座を開催 未来会議のメンバーも有志が協力 	<p>●将来的には</p> <ul style="list-style-type: none"> 昭和地区オアシナルの認知症サポーター養成講座に参画 交流の機会も併せ持った催し 認知症への理解が深い住民が増え、高齢者が安心して暮らせる地域につながる
<p>プログラム案</p>	<p>☆まず、</p> <p>「三」認知症サポーター養成講座を開催</p> <p>●場所の候補：老人憩いの家 ほほえみの里 知立団地集会所</p> <p>●日程、未来会議とは別の土日で、老人クラブの活動日程も踏まえ</p> <p>●参加者：未来会議参加者、関心のある地域のみなさん</p> <p>●内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 「三」認知症サポーター養成講座」のダイジェスト版 地域のみなさんとの意見交換会 	<p>●来年度以降の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> 反省会の意見を踏まえ、内容を磨き上げる 昭和地区全体で認知症サポーター養成講座を開催 未来会議のメンバーも有志が協力 	<p>●将来的には</p> <ul style="list-style-type: none"> 昭和地区オアシナルの認知症サポーター養成講座に参画 交流の機会も併せ持った催し 認知症への理解が深い住民が増え、高齢者が安心して暮らせる地域につながる

次回の昭和未来会議では、認知症サポーター養成講座の体験版の開催日程や内容について話し合いを進められればと思います。可能であれば、前回話ができた、講座の中で演劇によって認知症の理解を深める「認知笑劇団(仮)」についてもお話を進めましょう。